

学則変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

外国語学部	ドイツ語学科	入学定員	120名	→	100名
		収容定員	480名	→	400名
	フランス語学科	入学定員	95名	→	85名
		収容定員	380名	→	340名
	交流文化学科	入学定員	100名	→	130名
		収容定員	400名	→	520名

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

人や物に加え、情報やウイルスなどが国境を越えて活発に移動する現在、世界各地で様々な現象が生起しつつある。このような移動の世紀において、外国文化の研究教育を単一の国家や文化に限定して行うだけでは不十分である。2009年に設立した交流文化学科は新たな多様性の探究を重視し、英語教育ならびにツーリズム、トランスナショナル文化、グローバル社会の3部門を掲げ、志願者を漸増させてきた。こうした社会の要請に応えるため、同学科の教育研究の拡充を主目的として、外国語学部における入学定員および収容定員の調整を行う。（収容定員に変更なし）

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

なし

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

該当なし

オ 大学設置基準第25条の4の規定に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画

該当なし